

令和5年度 地域学校協働本部研修会

日時：令和5年11月21日(火)

会場：南魚沼市民会館 多目的ホール

○研修内容

(1) 本事業に関わる経緯説明

南魚沼市統括コーディネーター 松崎 一昭

(2) 講演

「地域、学校がパートナーとして 連携、協働を高め合う！

～コミュニティ・スクールと地域学校協働本部～」

講師：新潟県教育庁 中越教育事務所

社会教育課 副参事 中村 英雄 様



講師の話を聞く参加者



・学校について・地域について、隣席で意見交換してみよう！

学校を知ろう！・・・あなたは、どこまでご存知ですか？

№	内 容
1	学校の「教育目標」は？
2	学校の「特色ある教育活動」は？
3	総合的な学習の時間は何年生が取り組みますか
4	学校の総合的な学習の時間では、どのような内容に取り組んでいますか
5	地域との協働活動としては、どのような取り組みがありますか
6	一番多い授業時数の教科はなんですか
7	どのような行事が行われているのでしょうか
8	文科省が定めている小中学校の学級人数は何人だと思えますか
9	小学校の1単元時間は何分でしょうか、中学校は何分でしょうか、モジュールとは？
10	通知表はどこが定めるものなのでしょうか、また絶対評価、相対評価のどちらででしょうか
11	PTA活動は、公立学校には義務付けられているのでしょうか
12	教職員の勤務時間は？

学校運営協議会で
やっていますか？

チェックして
みましょう！

- 1) 校長のビジョンの発信がされている（している）
- 2) 校長のビジョンを理解している（されている）
- 3) 学校を知るための工夫をしている
- 4) 教職員の思いを知るための工夫をしている
- 5) 教職員・保護者への理解促進に務めている
- 6) 議事内容を会長と校長が事前に検討して決めている
- 7) 協議会の進行は委員が行っている
- 8) 議事録等の作成は委員が行っている
- 9) 委員同士の協議・熟議が成り立った会議となっている
- 10) 校長の決断や取組を後押しし、後ろ盾となっている
- 11) 地域におけるネットワーク作りに協力している
- 12) 学校の課題を共有している
- 13) 課題解決に向けて共に対応している（自らも動いている）
- 14) 教職員・地域関係者・保護者等との合同熟議を行っている
- 15) 広報活動を行っている

各校で勉強会をしてみてください！

学校について・地域について
隣席で意見交換中



○研修会アンケート集計

■開催日：令和5年11月21日（火） 南魚沼市民会館 多目的ホール

■受講者数：87名（事務局側除く）

■受講者概要：地域学校協働活動推進員、学校関係（校長・教頭・教務主任・事務職員）
学校運営協議会委員、PTA、地域づくり協議会 等

■アンケート結果（回答数 69名（回答率79%））
<集計結果>

	大いに期待している	まあ期待している	どちらとも言えない	あまり期待していない	期待していない
この研修会への期待度	17% (12人)	39% (27人)	38% (26人)	6% (4人)	0% (0人)

	とても満足	やや満足	あまり満足でない	満足でない
プログラム全体について	36% (25人)	55% (38人)	9% (6人)	0% (0人)
講演について	42% (29人)	52% (36人)	6% (4人)	0% (0人)

<主な感想等>

- ・学校運営協議会と地域学校協働活動の違いが分かりやすくて良かった。
- ・CSと地域学校協働本部の役割がよく理解できた。
- ・CSの体制と協働活動との連携の重要性を再確認できた。
- ・地域コーディネーターの役割、特色等をもっとPRしたほうがよい。
- ・地域コーディネーターの認知度が低いため広報活動をどう行っていくかが重要。
- ・学校を保護者だけでなく地域の方々との関わりを持てる場を増やしていきたい。
- ・地域と学校とのつながりを提案し、組織する能力が必要だと思った。
- ・小中学生が地域にかかわり活躍できる機会を考えていきたい。
- ・具体的なCSや本部活動について協議できたらいいと思う。
- ・学校と協働してできそうな地域行事を考えていきたい。
- ・今できることから、持続可能となるように取り組んでいきたい。
- ・自分のできること、役割等を再確認することができた。
- ・進むべき方向がよく理解できた。
- ・事例照合を多くしてほしい。
- ・知らない単語がいくつかあり、難しいと感じた。
- ・コーディネーターを通じた地域ボランティアの学校支援も、地域課題を一緒に取り組むことが少しずつ進んでいるので、今回の活動と合わせて聞けて良かった。
- ・各学校区で共有する時間が欲しかった。
- ・案内されていた時間と実際の時間が違った。
- ・お話はよく理解できたが、実践するのは難しいと感じた。
- ・熟議を心掛けていきたい。